

暦の上では「立冬」が過ぎましたが、例年より暖かかったせいか、金木犀がようやく咲きはじめました。甘く優しい香りと色づきを増した木々がさらに秋を感じさせてくれます。

現在会員登録数 3,623 人さま。次号は 12 月 21 日発行の予定です／

＋-----◇◆◇ 目次 ◇◆◇ -----＋

【1】お知らせ

【2】コラム

《1》この本読んだ？

《2》イーハトヴ周遊 宮沢賢治の童話を読破する

《3》子どもの本の珠玉のことば

《4》行って来ました！

【3】全国のイベント紹介

【4】プレゼント

＋-----◇◆◇ 目次 ◇◆◇ -----＋

■-----■  
【1】お知らせ

● 講演会「シンデレラ話の多様な世界を楽しもう」参加者募集

講師：横川 寿美子 さん（児童文学研究者、同志社女子大学嘱託講師）

日時：12月18日（土） 14：00～16：00

会場：大阪府立中央図書館 2階多目的室（東大阪市荒本）

定員：60人（申込先着順） 参加費：1000円

主催：大阪国際児童文学振興財団（IICLO）

後援：大阪府立中央図書館

助成：子どもゆめ基金助成活動

お申し込み、詳細は ↓↓

[http://www.iiclo.or.jp/03\\_event/02\\_lecture/index.html#cinderella](http://www.iiclo.or.jp/03_event/02_lecture/index.html#cinderella)

● 寄付金を募集しています

当財団の運営を応援いただける個人、法人の皆さまからのご寄付を募っています。寄付金は、当財団が行う講座・講演会など、さまざまな事業経費に充てさせていただきます。ぜひ、ご協力いただきますようお願いいたします。

\*年間1万円以上ご寄付いただいた方には、イイクロちゃんグッズをプレゼントしています。

詳細は → [http://www.iiclo.or.jp/donation\\_10th.html](http://www.iiclo.or.jp/donation_10th.html)

\* Syncable（シンカブル）の「大阪国際児童文学振興財団」ページからは、クレジットカードでご寄付いただけます ↓↓

<https://syncable.biz/associate/19800701/>

● YouTube「大阪国際児童文学振興財団 公式チャンネル IICLO」

<https://www.youtube.com/channel/UCgPj7D2ReQ0J03zhMMLfuIA>

公開内容一覧は → [http://www.iiclo.or.jp/m1\\_youtube/index.html](http://www.iiclo.or.jp/m1_youtube/index.html)

● 当財団公式 Twitter → [https://twitter.com/IICLO\\_News](https://twitter.com/IICLO_News)

■ ----- ■  
【 2 】 コラム  
■ ----- ■

\*\*\*\*\*  
《 1 》 この本読んだ？ Yasuko's & Osamu's Talk

\*\*\*\*\*  
『手塚治虫は「ジャングル大帝」にどんな思いを込めたのか 「ストーリーマンガ」の展開』 竹内オサム/著 ミネルヴァ書房 2021年10月 対象年齢：大人

概要：手塚治虫「ジャングル大帝」がどのような構想のもとに生まれ、雑誌『漫画少年』の初出から数度の単行本化の過程でいかに変わったか。そこに手塚のいかなるマンガ観が見られるか。「ストーリーマンガ」とは何だったのか。作品分析、手塚のノートや発言、手塚が参照したであろう本や映画など、作品が発表された当時のマンガに関わる言説を丁寧に検証し、「ジャングル大帝」を軸に、日本のマンガの歴史をまとめている。

Y：とても興味深く読ませていただきました。この本を出された動機を教えてください。

O：大きく2つの理由があります。

そのひとつは、マンガ研究のひな型ともいえるべきものを示しておきたいと思ったことです。日本マンガ学会ができて21年目に入っていますが、マンガ研究はまだまだ発展途上という気がしています。評論めいたものも含めてマンガ研究と言われている現状がある中で、マンガ研究の一つのありようを示したいと思ったのです。

Y：興味深い具体的な指摘のあとには、必ずそれと同じことが、作品全体で言えるかどうかの検証がなされている点、創作ノートから実際に発表された複数の作品までを検証されている点など、研究のあるべき姿だと思った点が多くありました。

O：もうひとつは、手塚の評価です。「あとがき」に「日本がマンガ大国と言われて久しいが、きちんとした歴史的な評価が加えられないまま、その過去が見過ごされているのは、何とも腹立たしい。とりわけ近年には、手塚治虫が戦後マンガに果たした役割を、過小評価する文章がいくつか書かれるようになっている。—中略—手塚の営為など、それほど革新的ではないという見方の人が増えたかにみえる。しかし、そうした理解はどう考えてもおかしい。細かな枝葉をとらえて、大樹の姿に気づかぬそぶり。」と書いたように、手塚の革新性を明らかにしたいという思いがありました。

Y：竹内さんは、『少年小説大系 別巻 少年漫画集』（三一書房 1988年）の編集をされるなど、戦前の漫画にも詳しく、本書にもそれらの知識が充分に生かされていると思いました。また、この本では、研究対象である「ジャングル大帝」が発表された時期のマンガ作品、マンガに関する言説、手塚のことばなどを丁寧に見ていくことで、「ジャングル大帝」の作品の革新性を証明されています。

そして、読んでいてとてもわかりやすく、頭にすっと入ってきたのう

れしかったです。最後に、お聞きします。「ジャングル大帝」にどんな思いを抱いていらっしゃいますか。

O：好きな作品です。それは手塚が描きたいと思って意欲的に描いたあとが読み取れるからです。特に、レオの内面が描かれている場面が好きで、苦悩しつつも、前へ進むレオの生き方に共感します。

\* 今回のゲストはマンガ・児童文化研究者で同志社大学社会学部教授の竹内オサム（O）さんです。竹内さんは当財団の評議員でもあります。

\*\*\*\*\*

《2》イーハトヴ周遊 宮沢賢治の童話を読破する

\*\*\*\*\*

第75回「馬の頭巾」

結末の行方

賢治童話には、原稿が一部失われて作品全体が読めないものもあります。今回取り上げる「馬の頭巾」もそうですが、こうした作品にも賢治らしさが読み取れ、失われた原稿には何が書かれていたのだろうと読者が自由に想像する楽しさもあります。

町外れにおかみさんと住み、荷馬車をひく仕事をしていた甲太は、足は悪いものの立派な黒い馬を持っていました。馬を労りながら暮らしていた甲太には、周囲からさまざまな視線—嘲笑や共感—が向けられます。

ある日、おかみさんが馬の頭巾を作ってくれます。これは馬の蛇除けにするためと、〈種馬所の一等〉の馬が着けるような、立派な着物を着せたいからでした。甲太は喜び、おかみさんもあんまりうれしくて涙を流しますが、おかみさんが夜なべして作った頭巾は耳の部分が折れ曲がっており、そのために道々の子どもから〈馬のねまき〉〈馬耳折れた〉などと笑われます。

しかしその後、甲太は停車場近くで眼光鋭く黒馬を見つめる老人と出会います。馬に詳しいこの老人は黒馬の素性についても知っているようで、まもなく馬の足は治るだろうと予言します。治ったら種馬所に連れて行け、この馬はたいへんなもので、大騒ぎが起こるぞと甲太に語りかけます。

立派な黒馬が町はずれの甲太のところに来たという、一種の〈貴種流離譚〉（天沢退二郎『新修版宮沢賢治全集』解説）としての構造を持つ本作は、途中および末尾の原稿が失われており、最終的な結末がわかりません。甲太とおかみさんに大事にされ、立派な衣装まで作ってもらった黒馬は〈大へん愉快〉に日々過ごしていますが、足が治ることで運命の劇的な展開が待ち受けているようです。同様に、甲太もこれまで嘲笑していた周囲から羨望の眼差しを向けられることが予兆され、大きな転機を迎えることが暗示されていると言えます。

こうした、世間的な成功や名声・財を得ることが予期される一方で、黒馬にとってはこれまで通り、大事にされる甲太のもとで愉快地に過ごすこと、また甲太にとってもこれまで通り大事な馬を労りながら過ごす可能性も残されています。甲太とおかみさんの馬への愛情や慈しみが、金や名声・名誉を上回るの

か、あるいは種馬所という国主導による品種改良政策に絡め取られていくことになるのか、作品の結末がいずれの選択肢へ向かったのかは実に気になるところです。（ペ吉）

（本文の引用は、角川文庫版『ビジテリアン大祭』によりました。）

\*\*\*\*\*

《3》子どもの本の珠玉のことば 29

\*\*\*\*\*

先に答えを明かしてしまうと、『長くつ下のピッピ』は「少女小説のパロディ」なのです。さて、どういう意味でしょう。

（『挑発する少女小説』 斎藤美奈子/著 河出新書 河出書房新社 2021年6月 p.242）

このメールマガジンが発行される当日は、当財団の事務所があり、国際児童文学館もある大阪府立中央図書館で第60回日本児童文学学会研究大会が行われており、文芸評論家の斎藤美奈子さんにご講演をいただきます（この原稿は2日前に書いています）。

そのテーマが、「今さらながら、今だからこそその少女小説—『若草物語』から『長くつ下のピッピ』まで—」で、まさに引用のテーマと重なります。斎藤さんは『挑発する少女小説』の中で、「家庭小説（少女小説）とは…（中略）…よき家庭婦人を育てるための良妻賢母の製造装置だった」「欧米型の望ましい家庭生活を女子に学ばせるツールだった」（p.4）ことを認めつつも、「読者である子どもたち自身が自らの手で選び、読み継いできた作品」（p.6）にはそれなりの理由があるはずだと述べ、バーネット『小公女』、オルコット『若草物語』、シュピーリ『ハイジ』、モンゴメリ『赤毛のアン』、ウェブスター『あしながおじさん』、バーネット『秘密の花園』、ワイルダー『大草原の小さな家』シリーズ、ケストナー『ふたりのロッセ』、リンドグレーン『長くつ下のピッピ』について、作品の読み解きを通して読み継がれた理由を考察します。

それぞれの作品の主人公の少女たちが、逆境や当時の社会規範の中で、いかに自分の力で生きようとし、自由を希求しているかが述べられており、私自身が子どものときに読んだ興奮や目の前が明るくなった気持ちはこれだったんだと思う指摘が数多くありました。

そして、最後にとりあげられている作品が引用にある『長くつ下のピッピ』。他の作品にある保守的な部分がないこの作品について、斎藤さんは、「ピッピの孤独を見ます。」（p.255）と指摘されています。幼い私は、学校へ行くのをやめると決断したピッピの勇気を賞賛しながらも、他の子どもたちが学校へ行っている間のピッピの孤独を感じずにはいられなかったことを思い出し、大いに共感しました。（Y）

\*\*\*\*\*

《4》行って来ました！

\*\*\*\*\*

今回は、大阪府立中央図書館で12月28日まで開催されている、国際児童文学館企画展示「シンデレラ本 いま・むかし」(協力:当財団)を紹介します。三宅興子さん(当財団特別顧問、梅花女子大学名誉教授)が国際児童文学館に寄贈された資料を中心に、1800年代に出版された貴重資料を含む約100点の「シンデレラ本」が、19世紀のもの、20世紀のもの、さまざまな画家によるもの、しかけ絵本、パロディ、日本のもの、世界のもの、ミニ絵本・グッズなどのテーマに分けて展示されています。

最初に「シンデレラとは?」「シンデレラ」絵本化のみどころ」がパネルで紹介され、ペローの「シンデレラ」のストーリー展開や登場人物の女性像、魔法やアイテム、場所、テーマなど、絵本化された本の着目点が挙げられています。パネルの解説文を読みながらじっくり見ていきました。

19世紀の手彩色の本はひとつずつ塗られた感じがわかる薄い色合いがきれいです。イギリスで流行したパントマイム劇の紙のクラフトは、復刻版が組み立てられていて、豪華な舞台に立っている紙の登場人物を動かしてみたくありません。

紹介されているシンデレラ本は、いろいろな場面が描かれた表紙やページを開いて展示されています。そこから見られるシンデレラは、幻想的な絵柄のもの、かわいい感じ、幼い感じ、活発そう、豪華な感じ、素朴な感じなど、同じシンデレラとは思えないほど。シンデレラの髪型や色、服装や、お城などの背景もさまざま、お気に入りを探すのが楽しかったです。

日本の「燻娘」(ふすぼり)のシンデレラは着物のようなドレスに日本髪です。登場人物が花の写真で表現されたパロディ本や、丸や四角などの記号で描かれたシンデレラもあります。世界のシンデレラのコーナーでは、シンデレラに似たお話の本が紹介されています。このような多様なシンデレラの違いから何が読み取れるのだろうと、12月18日に開催の横川寿美子さんの講演「シンデレラ話の多様な世界を楽しもう」が楽しみになりました。(K)

大阪府立中央図書館国際児童文学館 企画展示のページ

<http://www.library.pref.osaka.jp/site/jibunkan/shinderera.html>

■ ----- ■  
【3】全国のイベント紹介

● 子どもと本の集い 2021 スライドトーク「ノースウッズ、生命を与える大地ー北の森にオオカミを求めてー」

講師：大竹英洋(自然写真家)

日時：12月11日(土)14:00~16:10

場所：吹田市立中央図書館 4階集会室(吹田市出口町)

定員：35人(中・高校生~大人) 参加費：無料

主催：吹田子どもの本連絡会

上記イベントの詳細およびその他の講座・講演会、展示会、公募情報については、こちらからご覧ください。↓↓

[http://www.iiclo.or.jp/03\\_event/04\\_other/index.html](http://www.iiclo.or.jp/03_event/04_other/index.html)

※イベントの開催内容が変更される可能性があります。最新情報は主催者へお問い合わせください  
※イベント情報をお送りください。当財団HPに掲載させていただきます／

■ ----- ■  
【4】プレゼント

■ ----- ■  
今号のコラム《1》「この本読んだ？」で紹介しました『手塚治虫は「ジャングル大帝」にどんな思いを込めたのか「ストーリーマンガ」の展開』をプレゼントします。ご希望の方は、メールで件名「メルマガ NO.135 プレゼント希望」とし、(1)お名前 (2)郵便番号・住所 (3)電話番号 (4)メールアドレス、よろしければ (5)このメルマガのご感想をお書きのうえ office@iiclo.or.jp にお送りください。  
締切は12月10日(金)、当選発表は発送をもって代えさせていただきます／

編 | 集 | 長 | の | つ | ぶ | や | き |  
— | — | — | — | — | — | — | — |

大阪府新型コロナ警戒信号が緑になり、ようやく動き出せるようになってきました。定期的に集まっていた仲間との再会も果たすことができましたが、ひとテーブル4人以下でのマスク会食は当面続きます。恐る恐るではありますが、たくさんの方が集まらないような穴場の行楽地を探して足を運んでみたいと思っています。(TA)

-----  
みなさまのご意見・ご感想をお聞かせください。下記メールアドレスまでお願いします。

原則として返信はいたしませんのでご了承ください。

●このメールマガジンは、ご登録いただきました皆様に配信しています。

●配信の登録・解除・変更は、

[http://www.iiclo.or.jp/m1\\_magazine/index.html](http://www.iiclo.or.jp/m1_magazine/index.html) パソコンからどうぞ

●このメールの送信アドレスは配信専用です。

●記事の無断転載はご遠慮ください。

-----  
発行：一般財団法人 大阪国際児童文学振興財団 <http://www.iiclo.or.jp/>  
〒577-0011 大阪府東大阪市荒本北 1-2-1 大阪府立中央図書館内  
TEL：06-6744-0581 FAX：06-6744-0582 E-mail：office@iiclo.or.jp  
-----